

【例1：受給者情報部分の記載例】

特定医療（指定難病）療養費証明書

受給者氏名	宮城 青景	<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	生年月日	昭和45年1月1日生（50歳）
保険区分	<input checked="" type="checkbox"/> 社保 <input type="checkbox"/> 協会 <input type="checkbox"/> 国保 <input type="checkbox"/> 後期高齢	①被保険者負担割合		<input type="checkbox"/> 1割 <input type="checkbox"/> 2割 <input checked="" type="checkbox"/> 3割
①限度額適用認定証による現物給付	<input checked="" type="checkbox"/> 有り（アイウエオ VI V IV III II I 多数回該当 <input type="checkbox"/> 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無し） <input type="checkbox"/> 無し			
特定医療（指定難病）の公費適用	<input type="checkbox"/> 適用済み		<input checked="" type="checkbox"/> 適用無し	

以下の（1）と（2）を両方満たす場合、「有り」にチェックし、適用内容を記載してください。
 （1）特定医療費（指定難病）医療受給者証を適用せず、会計処理を行った。
 （2）限度額適用認定証を適用し、高額療養費自己負担限度額を上限として会計処理を行った。

「特定医療費（指定難病）医療受給者証」を適用して会計処理を行った場合、「適用済み」にチェックしてください。
 ※その場合、①の「限度額適用認定証による現物給付」は必ず「無し」になります。

生活療養費標準負担額が発生している場合も、⑤欄に記入してください。

【例2：入院医療費部分の記載例（※この例における健康保険等の内容は、例1のとおりです。）】

診療年月	医療費区分	②診療区分	診療期間	診療日数	③総医療費	④医療費患者負担額	⑤食事療養費標準負担額(利用回数)	⑥=④+⑤患者負担額計
○年	総額	入院	3日～31日	29日	800,000円	85,430円	31,320円 (360円×87回)	116,750円
	⑦うち難病		20日～31日	12日	700,000円		12,960円 (360円×36回)	
×月	総額	外						

この例は、総額の一部に指定難病分が含まれている場合の記載例です。
 対象となる医療費の全額が指定難病分の場合は、下段も上段と同額で記載してください。

保険診療分の患者負担額を記載します。
 （この例は、例1のとおり「区分ウ・多数回該当なし」による。）
 ※80,100 + (800,000 - 267,000) × 1% = 85,430

【例3：外来等医療費分の記載例（※この例における健康保険等の内容は、例1のとおりです。）】

診療年月	医療費区分	②診療区分	診期	療間	診療日数	③総医療費	④医療費患者負担額	⑤食事療養費標準負担額(利用回数)	⑥=④+⑤患者負担額計
			上段に同月内の総額を記載。下段に特定医療の抽出額を記載。						
○年	総額	入院	日～日	日		円	円	(円× 回)	円
	⑦うち難病		日～日	日		円		(円× 回)	
×月	総額	外来等	2日～28日	3日		400,000円	81,430円		81,430円
	⑦うち難病		15日～15日	1日		300,000円			

この例は、総額の一部に指定難病分が含まれている場合の記載例です。
 対象となる医療費の全額が指定難病分の場合は、下段も上段と同額で記載してください。

保険診療分の患者負担額を記載します。
 （この例は、例1のとおり「区分ウ・多数該当なし」による。）
 $※80,100 + (400,000 - 267,000) \times 1\% = 81,430$

※ 複数月該当がある場合は、月ごとに証明書を作成してください。

※ 処方せん発行日と調剤日が異なる場合、「調剤日」を基準として記載をお願いします。

※ 診療報酬請求書（レセプト）の具体的な記載方法等については、審査機関（社会保険診療報酬支払基金・国民健康保険団体連合会）にお問合せ願います。